

# 農業土木工事 写真管理基準

平成30年4月  
(平成30年10月改定)  
宮崎県農政水産部



## 農業土木工事写真管理基準 目次

### 【農業土木工事の留意事項】

節	備考	頁
第1節 適用		1

### 【品質管理写真撮影箇所一覧表】

番号・工種	備考	頁
34 ため池堤体工		3
35 水路工		3

### 【出来形管理写真撮影一覧表】

#### <第11編 農地編>

工種	共通仕様書関連章・節	頁
表土扱い	第1章ほ場整備工事第3節整地工	4
基盤造成 表土整地		4
畦畔復旧		4
道路工 (砂利道)	第1章ほ場整備工事第5節道路工	4
吸水渠工	第1章ほ場整備工事第7節暗渠排水工	4
集水渠(支線) 導水渠(幹線)		5
耕起深耕	第2章農地造成	5
テラス (階段畑)		6
道路工(耕作道)		6
土壌改良		6
改良山成工		6

#### <第12編 ため池編>

工種	共通仕様書関連章・節	頁
堤体工	第1章ため池改修第3節堤体工	7
遮水シート		7
法面保護工 (ブロックマット工) (布製型枠工)		7
洪水吐工	第1章ため池改修第5節洪水吐工	7
樋管工	第1章ため池改修第6節取水施設工	7
浚渫工	第1章ため池改修第7節浚渫工	7

<第13編 水路工編>

工種	共通仕様書関連章・節	頁
水路工 分水工計量部 ゲート戸当たり部 橋台沓部	第1章水路工第8節分水工	8
トンネル支保工	第2章水路トンネル	8
トンネル覆工		8
管体基礎工	第3章管水路工第5節管体基礎工	8
管水路 遠心力鉄筋コンクリート管 RC管	第3章管水路工第6節管体工	9
管水路 ダクタイル鑄鉄管 強化プラスチック複合管 硬質ポリ塩化ビニル管(TS継手) 硬質ポリ塩化ビニル管(ゴム輪継手) 鋼管	第3章管水路工第6節管体工	9
両面溶接 両面溶接(テーパ付き直管) 片面溶接 片面裏当溶接	第3章管水路工第6節管体工	9
両面溶接 両面溶接(テーパ付き直管)		9
周継手溶接 周継手溶接テーパ付き直管 すみ肉溶接 放射線透過試験 素地調整		10
エポキシ樹脂塗装 ジョイントコート		10
管水路(埋設とう性管)	第3章管水路工第6節管体工	10
掘削工	第3章管水路工第3節土工	10
埋戻工	第3章管水路工第3節土工	10
置換工		10
アスファルト舗装工(下層路盤工)		10
アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	第3章管水路工第3節土工	10
アスファルト舗装工(表層工)	第3章管水路工第3節土工	11
畑地かんがい工(スプリンクラー工)	第3章管水路工第14節末端工	11
シールド工事(一次覆工)	第4章推進工	11
シールド工事(二次覆工)	第4章推進工	11

# 写真管理基準

## 農業土木工事の留意事項

### 第1節. 適用

写真管理基準は、施工管理基準に定める土木工事の工事写真（デジタルカメラ等を使用した撮影～提出）の撮影に適用する。

なお、県土整備部 写真管理基準を適用するものについては以下に示すものとし、これに記載なき事項について農政水産部 写真管理基準に定めるものとする。

### <県土整備部 写真管理基準を適用するもの>

○写真管理基準

1. 総則
2. 撮影
3. 整理提出
4. その他

○撮影箇所一覧表

○品質管理写真撮影箇所一覧表 番号1～33

○出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第1編 共通編】～【第10編道路編】、【その他】



## 品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影頻度 [時期]		
34	ため池堤体土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]		
		土の含水量試験			
		コーン指数の測定			
35	水路工（管水路） ①土工 ※撮影頻度及び摘要については、「21 道路土工」	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]		
		含水比試験			降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]
	水路工（管水路） ②下層路盤 ※撮影頻度及び摘要については、「4 下層路盤」に準ずる。	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
		骨材のふるい分け試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	水路工（管水路） ③上層路盤 ※撮影頻度及び摘要については、「5 上層路盤」に準ずる。	含水比試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]	
		現場密度の測定			
		粒度			
	水路工（管水路） ④アスファルト舗装 （プラント） ※撮影頻度及び摘要については、「8 アスファルト舗装」に準ずる。	土の液性限界・塑性限界試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]		
		含水比試験			
温度測定					
水路工（管水路） ④アスファルト舗装 （舗設現場） ※撮影頻度及び摘要については、「8 アスファルト舗装」に準ずる。	アスファルト量抽出粒度分析試験	合材の種類毎に1回 [試験実施中]			
	温度測定				
	現場密度の測定				
	温度測定				
	外観検査	合材の種類毎に1回 [試験実施中]			
					すべり抵抗試験

# 出来形管理写真撮影箇所一覧表

## 【第11編 農地編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
11	農地編	1	ほ場整備工事	3	整地工	表土扱い	表土厚	10aあたり1箇所 (作業後)	
11	農地編	1	ほ場整備工事	3	整地工	基盤造成 表土整地	基盤面 表土埋戻し後	10aあたり1箇所 (施工後)	
11	農地編	1	ほ場整備工事	3	整地工	畦畔復旧	高さ 幅	200mにつき1箇所 (施工後)	
11	農地編	1	ほ場整備工事	5	道路工	道路工 (砂利道)	まき出し厚 転圧 厚さ 幅	幹線: 80mに1箇所 支線: 200mにつき1箇所 (施工後)	
11	農地編	1	ほ場整備工事	7	暗渠排水工	吸水渠	埋設深 間隔 管径	1耕区あたり1～2箇所 (施工中)	



【第11編 農地編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
11 農地編	1 ほ場整備工事	7 暗渠排水工			集水渠(支線) 導水渠(幹線)	埋設深 間隔 管径	80mにつき1箇所 (施工中)	
11 農地編	4 農用地造成工事				耕地深耕	耕起深	1haあたり2～3箇所 (施工中)	
						つぼ掘	2haあたり1箇所 (施工中)	

【第11編 農地編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
11 農地編	4 農用地造成工事				テラス (階段畑)	法勾配 幅員 耕起幅員	80mにつき1箇所 最低2箇所 (施工後)	
11 農地編	4 農地造成工事	5 道路工			道路工 (耕作道)	法勾配 幅員 厚さ 側溝幅	80mにつき1箇所 最低2箇所 (施工後)	
11 農地編	4 農地造成工事				土壌改良	サンプル採取中 試験中の箇所	2haあたり1箇所 (施工中)	
11 農地編	4 農地造成工事				改良山成	基準高 法勾配	測定2～3箇所につき1箇所	

【第12編 ため池編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
12 ため池編	1 ため池改修工事	1 本 体 工			堤体工	まき出し厚 盛土幅員	20～40m毎に1回 (施工中)	
						転圧	転圧機種が変わる毎に1回 (施工中)	
						法長 幅	20～40m毎に1回 (施工後)	
12 ため池編	1 ため池改修工事	2 付 帯 工			遮水シート	法長 幅	20～40m毎に1回 (施工後)	
						重ね幅	100m2毎に1回 (施工後)	
12 ため池編	1 ため池改修工事	2 付 帯 工			法面保護工 (ブロックマット工) (布製型枠工)	法長 幅 アンカーピン	20～40m毎に1回 (施工後)	
12 ため池編		2 付 帯 工			洪水吐工	床掘幅、基礎 幅、高さ、配筋、 打継ぎ目、 パイプ布設、 外観検査、 ジョイント関係	2スパンに1箇所 箇所単位の構造物について は適宜撮影する。 (施工後)	
12 ため池編		2 付 帯 工			樋管工	床掘幅、基礎 幅、高さ、配筋、 打継ぎ目	10mに1箇所 箇所単位の構造物について は適宜撮影する。 (施工後)	
12 ため池編	1 ため池改修工事	2 付 帯 工			浚渫工	深さ 幅	40mに1箇所 (施工後)	

【第13編 水路工編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
13 水路工編	1 水路工	2 分水工			精度を要するもの 分水工計量部 ゲート戸当たり部 橋台沓部	幅 高さ 厚さ 配筋	1箇所につき1回	
13 水路工編	2 水路トンネル	5 トンネル工	1		トンネル支保工	切羽 矢板 支保工	掘削タイプ別 (施工後)	
13 水路工編	2 水路トンネル	5 トンネル工	2		トンネル覆工	まき厚 型枠	1スパン毎に1箇所	
13 水路工編	3 管水路工	5 管体基礎工			管体基礎工 (砂基礎工)	幅 厚さ まき出し 転圧締固め	80m毎に1回 (施工中)  ・管水路基礎工の転圧締固め出来形管理写真は、転圧回数毎の写真は不要とし、一層毎の最終転圧時の転圧締固め写真を80m毎に1回撮影する。  ・管側部の転圧締固め出来形管理写真は、左右交互に転圧している状況写真は不要とし、一層毎の最終転圧時の転圧締固め写真を80m毎に1回撮影する。	

【第13編 水路工編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
13 水路工編	1 水路工	7 暗渠工	3 プレキャスト暗渠工		管水路 遠心力鉄筋コンクリート管 RC管	布設 外観 ジョイント関係	80m毎に1回 最低2箇所 〔施工中〕	接続箇所付近で撮影すること。
13 水路工編	3 管水路工	6 管体工			管水路 ダクタイル鋳鉄管 強化プラスチック複合管 硬質ポリ塩化ビニル管 (TS継ぎ手) 硬質ポリ塩化ビニル管 (ゴム輪継ぎ手) 鋼管	布設 外観 ジョイント関係	80m毎に1回 最低2箇所 〔施工中〕  ・ダクタイル鋳鉄管及び硬質ポリ塩化ビニル管(ゴム輪継ぎ手)のジョイント関係については、出来形管理で測定した4箇所の内1箇所を撮影するものとする。 撮影する写真は、チェックゲージの目盛、4箇所の測定値を記した黒板、管番号及び測定場所がわかる写真とする。 なお、段階確認で測定した継手については、写真管理を省略できるものとする。	接続箇所付近で撮影すること。
13 水路工編	3 管水路工	6 管体工	4 鋼管布設工		両面溶接 両面溶接(テーパ付き直管) 片面溶接 片面裏当溶接	溶接状況 検査状況	測定箇所の1/2 最低2箇所 〔施工中〕	
13 水路工編	3 管水路工	6 管体工	4 鋼管布設工		両面溶接 両面溶接(テーパ付き直管)	溶接状況 検査状況	測定箇所の1/2 最低2箇所 〔施工中〕	

【第13編 水路工編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
13	3	6	4		周継手溶接 周継手溶接テーパ付き直管 すみ肉用悦 放射線透過試験 素地調整	溶接状況 検査状況	測定箇所1 / 2 最低2箇所 〔施工中〕	
13	3	6			エポキシ樹脂塗装 ジョイントコート	膜厚 検査状況	測定箇所1 / 2 最低2箇所 〔施工中〕	
13	3	6			管水路 (埋設性可とう管)	たわみ量 布設 外観 ジョイント関係	測定箇所1 / 2 最低2箇所 〔施工中〕	
13	3	3			掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						幅	80m毎に1回 〔施工中〕	
13	3	3			埋戻工 置換工	幅 厚さ まき出し 転圧締固め	80m毎に1回 〔施工中〕	
13	3	3			アスファルト舗装工(下層路盤工)  撮影頻度及び摘要については、「第3編2-6-7-1 アスファルト舗装工(下層路盤)」に準ずる。	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回(200m未満のものは2回)〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕	
13	3	3			アスファルト舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工  撮影頻度及び摘要については、「第3編2-6-7-2 アスファルト舗装工(上層路盤)」に準ずる。	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回(200m未満のものは2回)〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕	

【第13編 水路工編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
13 水路工編	3 管水路工	3 土工			アスファルト舗装工(表層工)  撮影頻度及び摘要については、「第3編2-6-7-6 アスファルト舗装工(表層工)」に準ずる。	整正状況	400mに1回 (整正後)	平坦性については、既設舗装面等への擦りつけにより復旧する場合は、省略することができる。
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 (散布時)	
						平坦性	1工事1回(実施中)	
11 農地編	3 畑かん	14 末端工			畑地かんがい スプリンクラー工	埋設深 管径 立ち上がり高さ	1haあたり1～2箇所 (施工中)	
13 水路工編	4 推進工				シールド工事 (一次覆工)	セグメント設置状況 外観検査 ジョイント Dh、Dv寸歩	80m毎に1回 最低2箇所 (施工中)	
13 水路工編	4 推進工				シールド工事 (二次覆工)	管布設状況 外観検査 ジョイント Dh、Dv寸歩	80m毎に1回 最低2箇所 (施工中)	

